

今シーズンの安全と来客を祈願

竜ヶ森・森吉山阿仁側コース山開き

北秋田市と大館市の市境に位置する竜ヶ森(1049m)で6月1日、両市による合同山開きが行われ、今シーズンの安全を祈願しました。この日はあいにくの雨模様にもかかわらず、北秋田市からは約50人、大館市からは約75人とこれまで最高の参加数となりました。

竜ヶ森は標高は比較的低いものの、山頂部周辺がブナの美林で覆われ、初夏の新緑や秋の紅葉が美しいことから、東北100名山(東北山岳写真集)の一つに数えられています。参加者は、北秋田市側は東の又コース、大館市側は比内コースを出発、高山植物などを眺めながらゆっくりと登り、山頂で合流しました。



天然秋田杉とブナの美林を縫って登る参加者 竜ヶ森

一方、「花の百名山」で知られる森吉山(1445m)では、6月8日、阿仁側コースの山開きが行われ、登山愛好者ら約30人が参加しました。同コースは、ブナ代キャンプ場(ゴンドラ駅舎)石森(阿仁避難小屋)山頂の全長5km。ブナ代キャンプ場からは、ブナの新緑の中をマイナスイオン浴びながらトレッキング、標高1000m付近では、植生の変化(森林生育の限界ライン)などが楽しめます。また、石森までの登山道は、イワカガミやミツバオウレン、シラネアオイが真っ盛り、特に石森周辺のヒナザクラが一面に咲き誇り、登山者の心を癒してくれます。



阿仁側コース登山道から高山植物を楽しめます 森吉山 (写真: ヒナザクラ)

「阿仁のゴンドラ」が運行開始

花のシーズン幕開け・森吉山

阿仁スキー場のゴンドラを利用して気軽にトレッキングができる、阿仁のゴンドラで行く森吉山紀行」が6月7日から始まり、第1日目となったこの日、さっそく高山の花々を觀賞しようと訪れた登山客でにぎわいました。森吉山の花のシーズンは、始まったばかりですが、ところどころに咲く、シラネアオイやノウゴウイチゴ、イワカガミの可憐な花が登山客を迎えています。

高山植物はゴンドラ山頂駅を降りてすぐの登山道沿いで見えるほか、山頂駅から20分ほど登った石森付近では、チングルマなどが6月中・下旬から7月にかけて群生します。ぜひこの機会にゴンドラをご利用ください。



運行が始まった阿仁のゴンドラ(写真:上) トレッキングを楽しむ登山客(写真:下)

国道北欧の杜公園などを結ぶ道路が完成

市道大野台幹線が開通

国道105号線と県立北欧の杜公園を結ぶ市道大野台幹線の道路改良工事がこのほど完了し、6月10日、起点となる松栄集落そばの長野沢地内で開通式が行われ、テープカットで開通を祝いました。

開通したのは、米内沢字長野沢地内を起点とし、北欧の杜公園を通過して上杉字金沢地内を終点とする延長8.1kmの市道のうち、未整備であった起点から北欧の杜公園付近までの延長2.1kmの区間です。

開通式では、岸部市長が、関係者の協力で、2年という短期間で完成させることができ、全国植樹祭で天皇皇后両陛下にも御通りいただけるのは光栄なこと」と述べました。



テープカットで待望の開通を祝いました

救助のエキスパートが訓練を披露

第7回消防救助技術交流会

大館・能代・北秋田の消防隊員が消防救助技術を競う、平成20年度消防救助技術交流会」が6月5日、北秋田市消防署訓練場で開かれ、消防救助のエキスパートたちが日頃の訓練を披露しました。

開会式では、近藤文廣消防長が「ここでの一秒一秒は、災害現場における救助に要する時間そのもので、迅速な判断行動が人命を左右すると言っても過言ではない。6月26日の県大会に向けて更なる精進を期待します」と訓示。

訓練は、「ロープブリッジ渡過」、「ほふく救出」、「ロープ応用登はん」、「引揚げ救助」の4種目で個人とチームの技術を競い合いました。



「ロープブリッジ渡過」は、往路でロープの上を進み、復路はロープにぶら下がり戻ります

山の幸が盛りだくさん

マタギの里山菜まつり

マタギの里山菜まつりが6月1日から8日の期間、道の駅「あに」で開催され、新鮮な山菜を買い求める人で賑わいました。

今が旬のタケノコ、ミズワラビは人気が高く、両手いっぱい買い求める姿も見られ、また、山野草の販売も人気でした。

特別イベントが行われた8日は、山菜の特売のほかに、阿仁直売会による山菜鍋、焼きたけのこ、マタギモツ焼きなどの食事メニューが用意され、立ち寄った家族連れなどがマタギの里の味に舌鼓を打っていました。

また、アトラクションでは、お笑いショーが披露され、満員となった会場には笑い声が響き、大盛況の一日となりました。



ワラビやタケノコなど、旬の山菜を買い求める人たち